所智	言課	市民生	活部稅	治務課														
施策の大綱		まる 第5章 日本協働			頭第分 丁財政				03	行政	資	源を有交	効に活月	抱ます				
事	業	: 固定:	資産	税•	祁市	計	画	税	等	賦課	事	業					整理 番号	0032
目	固足	定資産税•	都市計	画税の記	適正な	賦	果を	行う	0									
的																		
目	適ī	Eな賦課																
標																		
_	事	業費 (決算額)(千円)	29,2		29	П	総:	コス	ト (千F	円)	1	34,366	合評		妥当性		Α
事業費		一般財源				27,234 ト	スト	内	事	業費			29,229		В	効率性		Α
費 •	財源	国府支出会	<u>_</u>		1,99		情	内訳	人	件費		1	05,137	価		有効性		В
財源	内		14		1,0		報			債費			0	評価	課税客体のI 委託や雷質化	E確な把握に努 比を図るなど、ji fった。	め、業 新正か	務の つ効率
源	F	地方債	50.00			0	評価			たり(円	_		1,190		的な賦課を行	うった。 すった。		- 223 1
		その他特定	E財源			0				5たり(F			2,849	由				
貢献度	施多	気に対する		Д	根	施	策を	推通	重す.	るための	の自	自主財源	となる市	税	を確保している	るため。		
度	事	業貢献度	'	~	拠													
今後の方向性	引	き続き固定	資産税	∙都市計	画税	の語	果税'	客体	:のI	E確な抵	巴握	屋に努め、	、適正な	賦言	果を行う。			
	= ₩.																赤ケエ	_

事 優労	事業 上順位	1	細	事	業:[旬定	資源	産税	- 都	市	計i	画和	锐争	 手賦認	事業	ŧ .			整理番号	01
目的	固定資産税・都市計画税の適正な賦課を行う。																			
目標	固定資産税・都市計画税の適正な賦課を行う。																			
事実施	事業 包主体	直	営	事 第 年	業開始 度	昭和4	47年月	度以前	根拠 法令	地	方税	法								
							平成	24年度	出	. 較	ξ							平成24年度	比	較
	事業	費 (決	算額)(-	千円)		/		29,229)	/		コス	総	コスト	(千円))	/	134,366		/
車	_	-般財法	原	. /		27,234				_/ 	+	事業費		1	/	29,229	_	/		
事業費	_{1.} 国府支出金				1,995		5		/	情報・従	内訳	人件費		4 /	/ .	105,137				
	財児	地方債			/ /		0)				公債費	(円)	/			1 100	/	
財源	内一	の他特	寺定財	源	1 /		0)	/	従事職員数		人あたり 帯あたり	(円)	/		1,190 2.849	/		
<i>///</i> /\						0 /		/	順員		職員数	(人)	-		13.00	/				
								()			数	参考	再任用職		4 /		0.90	./	
今後の方向性	今 引き続き固定資産税・都市計画税の課税客体の正確な把握に努め、適正な賦課を行う。																			
評	妥旨	当性	効率	性	有效	性	対系	纳税義	務者	古	定資	產	锐;	約41,500	人 都市	計画税 統	約3	7,500人		
価		A	Α		В		対象者													

事業:固定資産税・都市計画税等賦課事業

固定資産税は、毎年1月1日に、土地、家屋、償却資産(これらを総称して「固定資産」という。)を所有している人がその固定資産の価格を基に算出された税額をその固定資産の所在する市町村に納める税金である(税率は1.4%)。また、都市計画税は、都市計画事業又は土地区画整理事業に要する費用に充てるために、目的税として課税される。課税の対象となる資産は、都市計画法による都市計画区域のうち、原則として市街化区域内に所在する土地及び家屋であり(一部例外あり)、固定資産税とあわせて納める税金である(税率は0.3%)。

固定資産税・都市計画税は、市税収入の約4割を占める重要な財源であるので、各種課税資料を基に実地調査を 行い、また航空写真を活用するなど、課税客体の正確な把握に努め、公平かつ適正な賦課を実施した。

細事業:固定資産税・都市計画税等賦課事業

- 1. 土地 (平成 2 4 年度 現年課税分調定*額 固定資産税 1,713,650 千円 都市計画税 494,408 千円)
 - (1) 平成25年度価格修正作業
 - ① 平成25年度の価格修正に係る鑑定評価(53地点)
 - ② 画地計算調書等作成
 - (2) 土地の異動更正処理

法務局からの通知及び実地調査等に基づき、地目変換等があった土地について異動処理した。

		納税義務者(人)	筆数(筆)	地積 (m²)	評価額 (千円)
本年度	(a)	33, 825	99, 026	25, 156, 604	372, 849, 888
前年度	(b)	33, 717	98, 960	25, 191, 852	380, 884, 114
増減 (a)-	— (b)	108	66	▲ 35, 248	▲8, 034, 226

2. 家屋 (平成24年度 現年課税分調定額 固定資産税2,095,457千円 都市計画税426,661千円) 法務局からの通知及び実地調査等に基づき、新増築家屋及び滅失家屋について異動処理した。

【調査棟数】 平成23年以前の新増築家屋 51棟

平成24年中の新築家屋 342棟

平成24年中の増築家屋 24棟

	納税義務者 (人)	棟数 (棟)	床面積(㎡)	評価額 (千円)
本年度 (a)	36, 942	50, 843	5, 768, 762	157, 189, 382
前年度 (b)	36, 853	50, 824	5, 744, 007	153, 976, 193
増減 (a) — (b)	89	19	24, 755	3, 213, 189

3. 償却資産(平成24年度 現年課税分調定額 固定資産税616,664千円)

償却資産の所有者からの申告に基づき賦課を行い、申告のない者には申告の催告を行うなど指導を行った。

		納税義務者(人)	評価額 (千円)							
			通常分	総務大臣配分	知事配分					
本年度	(a)	1, 082	19, 232, 420	23, 116, 934	0					
前年度	(b)	978	19, 151, 113	23, 630, 932	0					
増減(a)	— (b)	104	81, 307	▲ 513, 998	0					

※調定 … 歳入の内容について調査し、所属年度、歳入科目、納入すべき金額、納入義務者等を決定すること